

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	廃棄物処理施設における水銀等排出状況調査	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部署	廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	廃棄物対策課	廃棄物対策課長 徳田 博保		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国連環境計画(UNEP)は、2001年より地球規模での水銀汚染に関連する活動(UNEP水銀プログラム)を開始し、2005年からは鉛及びカドミウムも対象に加えて活動(UNEP重金属プログラム)を行っており、第25回UNEP管理理事会(21年2月)において、水銀の排出抑制や輸出入の規制をするための条約を2013年の調印を目指すことで合意しているところ。また、国内での廃棄物処理施設における水銀・鉛・カドミウム排出状況を調査・整理し、我が国がリードするUNEP廃棄物管理分野での議論に資するものとする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1) 廃棄物処理施設等における水銀・鉛・カドミウムの排出状況等の調査 (2) 上記の状況調査と併せ、廃棄物処理施設の運転管理状況の調査を行い被処理物、処理種別、処理方式等による、水銀等の物質フローを整理する					
実施状況	調査項目:水銀・鉛・カドミウム、施設の稼働・管理データ 調査地点:10か所(焼却炉:20炉、熔融炉:3炉、粗大ごみ処理施設:3施設) 分析検体:103検体(処理前廃棄物:10検体、排ガス:44検体、排水:5検体、焼却灰:44検体)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	8	8	20
	執行額			2		
	執行率			28%		
	総事業費(執行ベース)					
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	調査内容、調査地点の選定、調査方法、サンプリング方法など調査の内容全般について、環境省担当職員及び請負事業者は、学識経験者の意見を聞きながら順次業務を進め、また、現場の状況を随時確認して、業務の進捗を把握した。				
	見直しの 余地	平成21年度においては、環境基準や排出基準がない物質を測定する新たな試みとなる業務であったことから、サンプリング手法など測定スキームの検討に時間を要するとともに、一定数の施設において調査測定を行おうとしたために該当自治体への説明・調整に時間を要したものであり、この結果、最終処分場における水銀等の挙動調査及び調査対象施設にごみを搬入する自治体における水銀の分別状況等調査が実施できず、執行率が低くなったものである。平成22年度以降は、平成21年度に検討した測定スキームや調査結果を十分に分析・活用して、より有効な調査とすべく調査対象施設の効果的な絞り込みを行った上で効率的・重点的な調査実施とする等の見直しを行う。				
予算 監視 の 効率 性	現状維持 (第25回UNEP管理理事会における合意に基づき、23年度については全国の水銀廃棄物の排出実態を調査する必要があるため、増額要求も考慮に入れるが、効率的かつ適正な執行に努めること。)					
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
2百万円

〔 調査対象との交渉
調査内容の検討
学識経験者との協議 〕



【一般競争入札】

A.東京テクニカル・サービス(株)
2百万円

廃棄物処理施設における
水銀等排出状況調査

〔 サンプルング
分析・計量証明作成
データ整理 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者
 について記載す
 る。使途と費目
 の双方で実情
 が分かるよう
 に記載)

A.東京テクニカル・サービス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	廃棄物処理中の水銀分析調査	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0